

週間漁海況情報—第27号

平成22年07月20日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

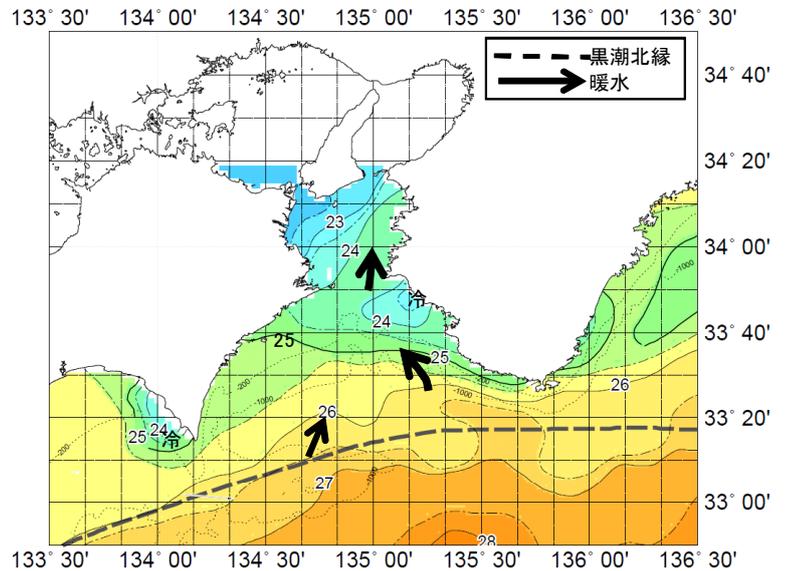
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.7.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬で接岸している。

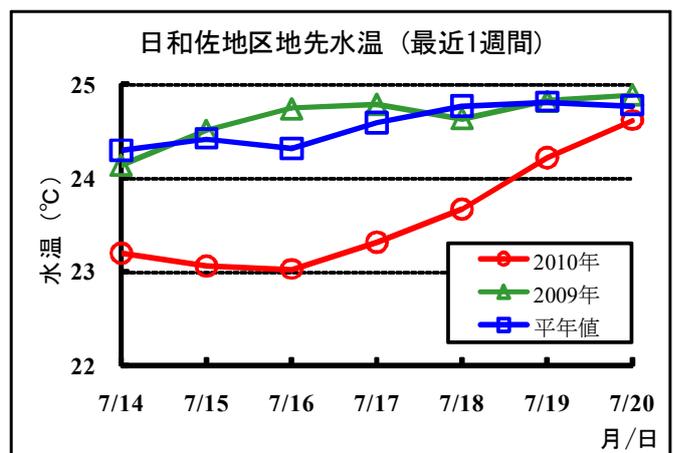
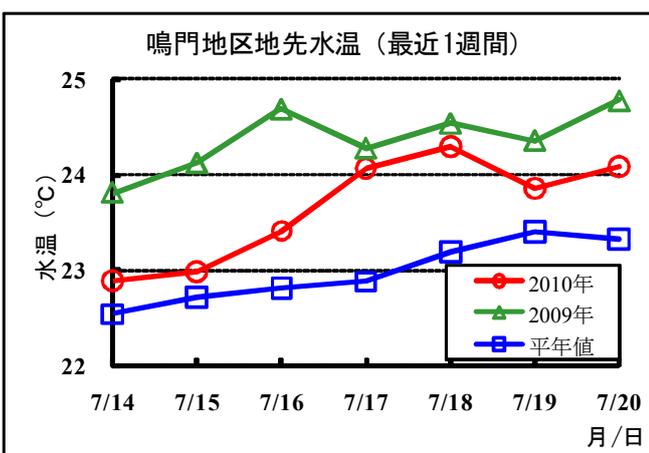
黒潮本流の表面水温は、26～28℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が22～24℃台、紀伊水道が22～24℃台、海部沿岸が24～25℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からと室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近からの緩やかな暖水流入がある。暖水の一部は紀伊水道内部に進入している。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.9～24.3℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.0～24.6℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の22.5～25.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大・小主体にゴマサバが0.1トン(1日1隻当たり1kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.4トン(同8kg)、小小主体にカマス類が0.4トン(同8kg)、小主体にマアジが0.3トン(同7kg)、マイワシが0.2トン(同5kg)、マルソウダが0.5トン(同10kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸でマルソウダが0.7トン(同4kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが24.8トン(同194kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 07月12日～07月18日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ゴマサバ	190	144	1	大・小主体
小型定置網		ウルメイワシ	49	384	8	
		カマス類	49	412	8	小小主体
		マアジ	49	346	7	小主体
		マイワシ	49	228	5	
		マルソウダ	49	472	10	
釣り		マルソウダ	176	741	4	
パッチ網	紀伊水道	シラス	128	24,800	194	

週間予報：黒潮は室戸岬沖と潮岬沖で「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」～「高め」の24～25℃台前半、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の24～26℃台前半で推移する見込み。

クラゲ情報：漁業調査船「とくしま」が7月15,16日に紀伊水道で行ったクラゲ調査では、カブトクラゲが多数見られた。